

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)	禁止	ランプは落としたり、(物を)ぶつかけたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
厳守	節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。	厳守	

点検

- 6ヵ月～1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]
- 48時間以上充電後、非常点灯持続時間が30分以下となったら蓄電池を交換する。

ランプ交換・器具の清掃

警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

ランプ交換

適合ランプ
 FHF32
 FL40S(EX)
 FL40SS(EX)/37
 FLR40S(EX)
 FLR40S(EX)/36

光束値の違うランプに交換する場合、照度範囲がわかります。

清掃

- カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・みがき粉やたわし
・殺虫剤
・シンナーなど揮発性のもの
・熱湯
- 反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。
- ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。

注意

- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
- ランプはソケットに確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済みのランプは不用意に割らない。(ガラスが飛散してけがの原因)

警告

器具・ランプを水洗いしない。(火災・感電の原因)

蓄電池の交換

警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

適合蓄電池 8N25DA 蓄電池の交換は指定のものを使用してください。

警告

蓄電池はショート・分解・加圧・変形させない。また、火中に入れない。(やけどや衣服損傷の原因)

- 使用済みの蓄電池は環境保全と資源再利用のため、下記回収処理業者へお問い合わせください。
問い合わせ先
日本リサイクルセンター(株) 本社 ☎06(6311)9071
東邦亜鉛(株) 本社 ☎03(3272)5657
関西触媒化学(株) 東京営業所 ☎03(3246)0606



インバータ器具の取扱い

- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離れてご使用ください。(雑音が入ったり正常に作動しない場合があります。)
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

警告

異常時の処置 煙が出たり、変な臭いが出たり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。(火災・感電の原因)

三菱電機株式会社
 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 ☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)

三菱電機照明株式会社
 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。

E766Z969H20

三菱非常用照明器具 [蓄電池内蔵形] (高調波ガイドライン適合品)

Easyeco Super トラフ形



形名 YLH4012 (光束比60%)

取扱説明書

電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、警告、注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止	絶対に行わないでください。	厳守	必ず指示に従って行ってください。
----	---------------	----	------------------

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)		厳守

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

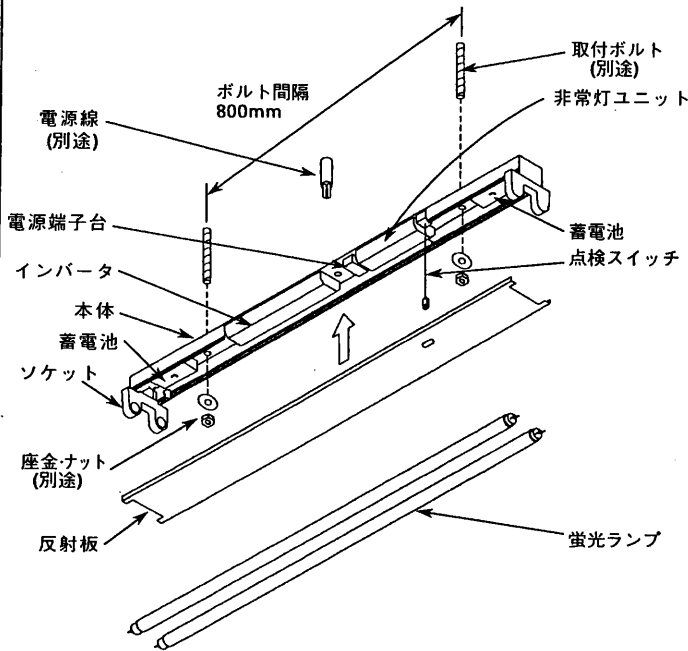
禁止	高温(35°C以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下感電・火災の原因)	禁止	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す)(器具の温度が高くなり火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。(劣化による落下の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)		器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。(火災・感電の原因)		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)
	雨水のかかる場所では使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)		調光用専用器具以外は調光させない。(器具が過熱して火災の原因)

お願い

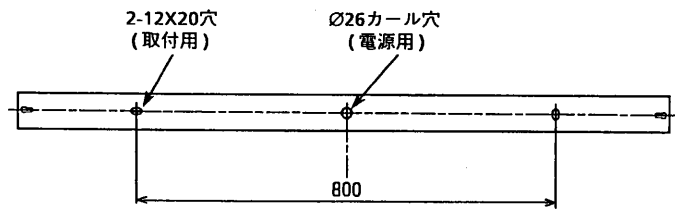
- 器具の周辺温度が5～35°Cの範囲で使用してください。点灯始動保証温度は-5°C以上です。-5°Cのとき点灯直後は光束が約50%になります。
- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。(すき間が発生することがあります。)
- インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)

平常時は2灯点灯します。非常点灯時は、1灯のみが下表の光束値で点灯します。

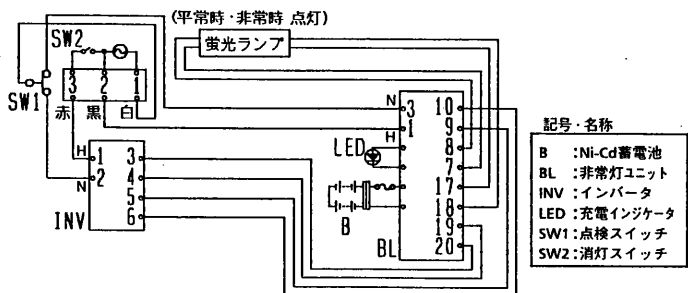
ランプ	ランプ定格光束(lm)	光束比	非常点灯時光束(lm)
FHF32EX	3200	60%	1920
FL40SW(SSW/37)	3100	50%	1550
FL40S.EX(SS.EX/37)	3560	50%	1780
FLR40SW(/36)	3000	50%	1500
FLR40S.EX(/36)	3450	50%	1725



取付穴 (単位 mm)



接続図



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

△警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

2 ソケットを取付ける。

○本体に内蔵してあるソケットを、ソケット台へ差し込む。

3 器具本体を取付ける。

- (1)使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2)電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3)本体を取付ボルトに確実に取付ける。

△警告

取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線を電源端子台に接続する。

- (1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事がが必要です。>

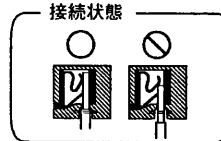
- 電源端子台の送り容量は20Aです。
- 適合電線:Ø1.6mm単線 Ø2.0mm単線
- 電源線は専用回路にする。

△警告

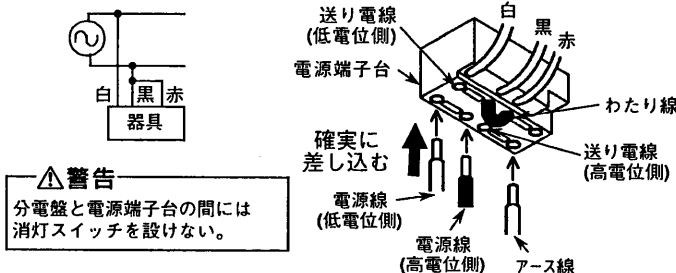
送り配線は非常用照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。(負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

△警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さ
に被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで
差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・
感電の原因)



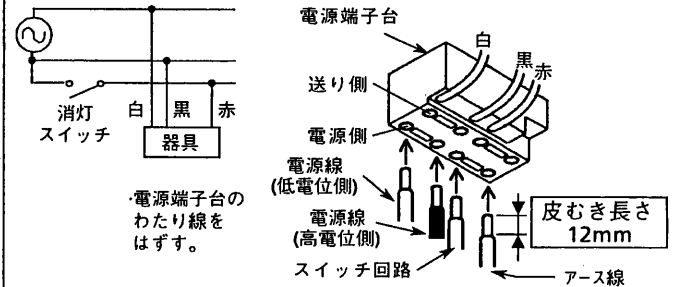
<単相2線2線引き・平常時消灯しない場合>



△警告

分電盤と電源端子台の間には
消灯スイッチを設けない。

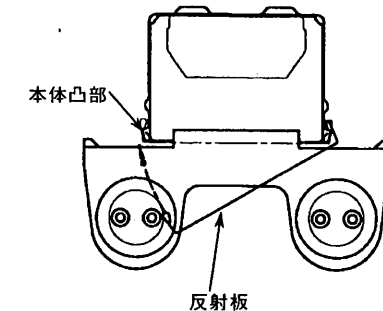
<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>



- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

5 反射板を取付ける。

点検スイッチの引きひもを反射板の穴に通して、
反射板を本体側面の凸部に確実にはめ込む。



△注意

取付けが不完全な場合
落下の原因

6 ランプを確実に取付ける。

△注意

取付けが不完全な場合落下の原因

7 点灯を確認する。

- (1)非常点灯しない場合
 - 蓄電池とインバータのコネクタははずれていませんか。
 - インバータのヒューズは溶断していませんか。
 - 蓄電池は48時間以上充電してありますか。
- (2)充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合
 - 電源は通電されていますか。
 - 蓄電池とインバータのコネクタははずれていませんか。
 - インバータのヒューズは溶断していませんか。